

～めざす都市の姿～

福山市は、人口減少や少子高齢化といった社会情勢の変化に対応しつつ、多様な人を惹き付け、人と自然が共生する活力と魅力にあふれた備後圏域の中核都市として輝くため、20年後の持続的な発展に繋がる都市づくりに挑戦していきます。

持続的な発展に繋がる都市づくり

その実現のためには、暮らしやすい生活圏が形成され、日常生活に必要な施設の配置や移動手段の確保、効率的な土地利用を推進し、こどもから高齢者まで誰もが住みやすく、ライフステージの変化にも応じた住み続けられる居住環境を整備するとともに、防災・減災対策といった安心・安全につながる生活基盤の整備が必要です。

生活基盤

更に、これからの持続的な発展に向けて、福山市の最大の強みである多様な製造業等の基幹産業を磨き上げ、関連産業を強くするための基盤整備を適切に行うことで、基幹産業を軸とした経済の循環を生み出し、農業や商業も含め、備後圏域全体で稼ぐ力を高めていく必要があります。

産業基盤

基盤整備が進む都市では、多様な人々が集まり、交流することで、都市としての活力を生み出し、より豊かで良質な暮らしにつながり、人を惹き付ける賑わいが芽吹きはじめます。

これにより、福山市に住んでよかった、住んでみたいと心から思える「都市整備による好循環」が生まれていきます。

賑わい

このように、「都市整備による好循環」が、福山市の魅力を高め、備後圏域ひいては中国・四国地方の持続的な発展に繋がります。

福山市は、次世代に託す20年に向け、こうした考え方を基にして都市マスタープランの基本理念を定め、市民と行政が一体となって都市づくりに取り組んでいきます。

～めざす都市の姿を実現するための3つの柱～

◆誰もが安心・安全で快適に暮らせる生活基盤の整備

- 暮らしの基盤となる上下水道や生活道路など生活インフラの整備・維持管理
 - 地域公共交通及びその他の移動手段の充実
 - 日常生活に必要な施設が適切に配置された暮らしやすい生活圏の形成
 - 福祉の充実のため、バリアフリーや子育て支援等のライフステージに応じた居住環境の整備
 - リノベーションやシェアハウスなどによる空き家の活用
 - 激甚化・頻発化する自然災害のリスクを低減させるため、防災力の強化
- ⇒生活基盤を整備することで、住み続けたい、住みたいという定住促進につなげます。

◆地域経済の安定・活性化につながる強みを生かした産業基盤の整備

- 福山市の最大の強みである製造業等の基幹産業及び関連産業を強化するための産業用地の確保（イノベーションを起こす先端技術等を有する企業の誘致）
 - 企業の生産性向上に資する渋滞緩和に向けた道路網整備
 - 特産物や農産物を安定的に生産・供給するための農業振興に資する農地の保全・活用
 - 若者や子育て世代が希望を持って働ける環境の創出
- ⇒産業基盤を整備することで、地域経済を安定・活性化させ、雇用を創出します
これにより、人々が住み、働くといった「仕事」と「人」の好循環を作ります

◆集い・交流し、賑わいを生み・育む

- 日常生活を支える場のみならず、地域の賑わいの起点となる拠点づくり
 - 広域的な連携を担い、質の高いサービスを提供できる本市の中心となる拠点の強化
 - 人が潤いを感じる水辺や豊かな緑を有する公共空間の創出
 - 集客に資する観光振興やスポーツ・レクリエーションの充実
 - 市内外の多様な人々の交流の輪を広げるため、新技術を活用した地域の魅力発信
 - 文化財を巡るルートの整備や豊かな瀬戸内海を活用した観光など、地域振興に資する地域資源の活用とエリア価値の向上
- ⇒これにより、地域全体の賑わいを育み、都市の活力につなげます。

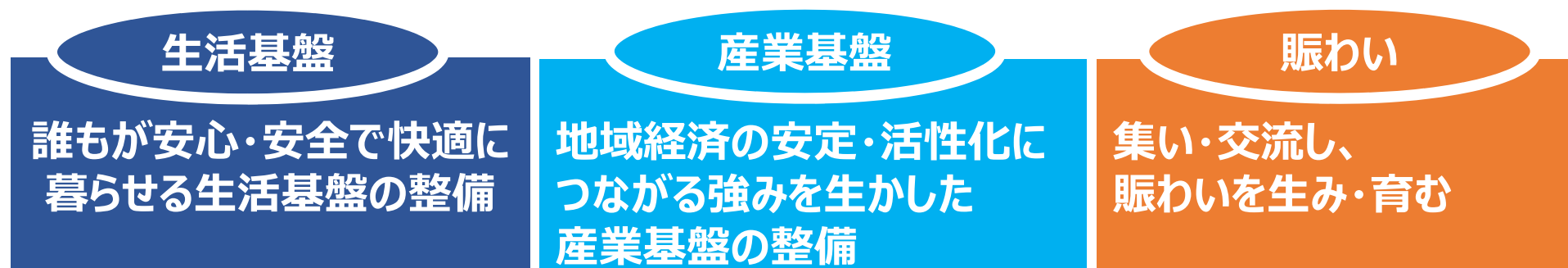
持続的な発展に繋がる都市づくり



都市づくりの基本理念（案）

暮らしに安心、地域経済に活力、街に賑わい、強みを生かした未来につなげる都市づくり

暮らしの基本となる安心・安全を確保し、豊かな自然を守りながら、基幹産業を中心とした本市の強みを磨き上げることで、福山市に住み、働き、訪れるすべての人々が、これからも便利で快適に暮らしていけるとともに、人々が集い、繋がり、賑わいにあふれた活力と魅力のある未来につなげる都市をめざします。



都市づくりの基本理念（案）

暮らしに安心、地域経済に活力、街に賑わい、強みを生かした未来につなげる都市づくり

暮らしの基本となる安心・安全を確保し、豊かな自然を守りながら、基幹産業を中心とした本市の強みを磨き上げることで、福山市に住み、働き、訪れるすべての人々が、これからも便利で快適に暮らしていけるとともに、人々が集い、繋がり、賑わいにあふれた活力と魅力のある未来につなげる都市をめざします。